富士市立神戸小学校

学校だより６月号

令和４年５月 31 日

燃える神戸っ子

学校教育目標

「じぶんから」

令和４年度重点目標

「よし やってみよう！」

「じぶんから」「よし　やってみよう！」があふれる学校へ

ヤマボウシの花が咲き始め、神戸地区に爽やかな初夏の風が吹いています。令和４年度がスタートして早２か月が経ちました。５月末現在、PTA 総会や懇談会、校外学習等、昨年の４月と比較して少しずつ行事や学習活動を実施することができています。しかし、いまだに富士市の感染レベルはレベル２のままであり、富士市の感染者報告数が０になる日はありません。

そのような中ではありますが、コロナウイルス感染防止対策を施しながら、子供たちの「じぶんから」「よし　やってみよう！」という姿があふれる学校をめざしています。今後も、保護者や地域の皆様方のご理解ご協力をお願いいたします。

５月は、４校合同引渡し訓練や１年生となかよくする会に始まり、１・２年の栽培活動（アサガオ、サツマイモ、夏野菜、ポップコーントウモロコシ）、３年の GIGA タブレット使用開始、４年の環境クリーンセンター見学、５年の総合的な学習の時間の始動、６年発案のにこにこ活動等、子供たちが新たな学びとつながり始めました。

先日は生活科において、２年生主催で１年生対象の学校クイズ大会が行われました。１年生が今までの学校探検を生かして答えられる問題や、少し難しくてまた学校探検に行きたくなる問題など、工夫した出題がされていました。すっかり頼もしくなった２年生です。

５月の学校

１年生となかよくする会

にこにこ活動での６年生の活躍

今年も、岩松製茶様から全校児童に新茶のプレゼントをいただきました。

学校運営協議会委員の川口様からご指導いただき、１年生がサツマイモの苗さしを行いました。

よし　やってみた！

「総合で家の人や地域の方にアンケートを取りたいのですが。」との申し出が５年生からありました。教職員と同様に「起案書」を作成し、点検を受けてから発送しました。「じぶんから」やりたいことを見付け、ぐんぐんと活動が始まっています。